

就任のご挨拶

このたび、東京国税局間税会連合会の会長に就任いたしました關口雅章でございます。

まずは、長年にわたり弊会の発展に多大なるご尽力を賜り、多くのご功績を遺されました故片岡直公前会長のご逝去に際し、改めて深い哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

前会長の遺志を受け継ぎ 弊会の円滑な運営と社会への貢献に、微力ではございますが、誠心誠意努めてまいり所存です。

さて、我が国経済は、緩やかな回復傾向にあるとされていますが、飲食料品やエネルギーの物価高に加え、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクもあり、回復に伴う生活実感の改善は妨げられています。

政府与党におかれては、党派を超えた協議により優れた方策は積極的に採り入れ、迅速かつ間断なく有効な施策を実施していただこう期待しております。

そうした中、私ども間税会に関わりの深い消費税につきましても経済対策等の観点から議論となっております。しかしながら、消費税は、令和元年10月から税率が10パーセントに引き上げられ、我が国の税体系の中で最も大きな税収をもたらす基幹税となり、人口の少子・高齢化に伴う福祉財源確保の必要性や財政健全化の観点などから、非常に重要な存在となっているものであります。

したがって、そうした点を念頭においた長期的視点に立った議論が行われますことを祈念しております。

いずれにせよ、消費税は、制度面においては、軽減税率制度やインボイス制度も導入されるなど、新たな時代を迎えております。

消費税を中心として活動をしている私ども間税会の果たすべき役割も、益々、高まってきているものと考えておりますので、さらに組織を強化し、活発な事業活動を展開していくことが重要です。

間税会としましては、そうした点も念頭におきながら消費税を始めとする「税に関する周知・啓発活動」に加えて、関係者から高い評価を頂いております「世界の消費税」図柄刷込みクリアファイル等の配布活動や「税の標語」の募集活動などを積極的に展開することにより、組織の活性化と拡大に努めていくことが必要と考えますので、引き続き、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

ところで、東京局間連の本年4月1日現在の会員数は、前年度に比べて452名減少し18,178名となり、2年連続で減少となる厳しい状況となっております。

間税会の仲間を増やすための取組は、間税会の基盤を維持強化する上で必要不可欠な活動であり、退会防止策も含め、不斷の努力を展開して頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

特に、東京局間連は、活動の拠点として全国間税会総連合会の中核を担っていることから、組織面・活動面において各局間連のリード役を果たすことが強く期待されております。

したがって、会員の皆様には、引き続き、この思いを同じにして一体的に取り組むことで、中核としての立ち位置に相応しい活動を展開して頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄、都間連・各県間連及び傘下間税会並びに業種団体の益々のご発展を祈念しております。

また、国税ご当局の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り致しますとともに、東京局間連及び傘下団体の運営につきまして、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、会長への就任のご挨拶と致します。